

一般社団法人レーザー学会学術講演会第 39 回年次大会
第 4 回実行委員会議事録

日時：2019 年 3 月 19 日（火）15:00～17:15

場所：東海大学 高輪キャンパス 1 号館 2 階 12 会議室

参加者：配付資料 1 頁に記載の通り

配付資料

- ① 第 4 回実行委員会議事録次第
- ② 第 40 回年次大会のご案内
- ③ 受付係報告書
- ④ 年次大会開催期間の昼食の確保・企業見学会についての報告書（伊澤実行副委員長）

挨拶

実行委員長の大越先生、プログラム委員長の杉岡先生、顧問の山口先生、展示会実行委員長の山本担当理事よりそれぞれ挨拶があった。

1. 大会報告

各係より報告書に沿って今大会での報告および次回に向けての申し送り事項について説明があった。

(0) 大会速報

参加者数 747 名、総講演件数 411 件（公開特別講演 3 件、シンポジウム講演 106 件、招待講演 65 件、一般講演 196 件、ポスター講演 41 件）、さらには 4 件の企業発表と東海大学共催の下、盛会のうちに終わることができた。展示会では多くの企業様にもご協力頂いた。これら大会速報としてはレーザー研究の 3 月号に掲載予定。

(1) 総務係

反省点として、第 2 回実行委員会の議事録（今回の資料に添付）を作成していたが回覧していなかった点がある。

- ・（予稿集について）予稿集に講演番号を振る作業が大変。分担するより一人で行った方がいいと思う。PDF に機種依存文字が入ると文字化けするので大変。予稿作成の注意事項に機種依存文字が入らないようにとの項目を入れるのも検討事項か。予稿を出さない人が 4 件あった。これは空白にした。そのほかは無事掲載できた。
- ・（次第書時間割の準備について）事務局からエクセル表を上げてもらい、修正を行った。前回は講演者・所属を全員記載していたが、今回は発表者のみとして掲載スペースを小さくした。これらを総務係全員で確認作業を行った。前回の担当者から

索引の希望があったが、名前の抜き出し等、ミスが発生するおそれがあるので省略した。PC上で検索すれば出てくると思うので、その方法を次第書に記載するのもあるかと思う。

- ・（保険加入について）東海ウイングで手配。3日でのべ150人の傷害保険をお願いした。当初は延べ人数として支払い、最終的には名簿を提出して支払う金額を確定するが、今回は差額が無かった。
- ・（企業見学会について）申し込み締め切りが延長となり、最終的に14名となった。企業との調整は山口先生・大越先生で行ってもらった。
- ・（写真撮影について）高山先生のご協力で東海大学の写真部の学生さんにアルバイトをおねがいをした。

申し送り事項

- ・ 本部にはプリンターを用意しておいた方がよかったのではないかな。
- ・ 当日撮影した写真の共有・公開について、公開のためのサイトをあらかじめ準備しておいてはどうか。
- ・ 予稿集のプログラム索引については、登録の際に講演者を個別に入力するなどすれば、対応できるソフトウェアがあるのではないかな。

意見・コメント等

- ・ Web上のプログラムとUSBのプログラムは同じ情報を基にしているが、Webについては適宜修正できるがUSBは外部に発注するので細かい修正ができないため結果的に内容が違う部分がある（申し込み時点と予稿集でタイトルが違うなど）。
- ・ 索引を作成するソフトの使用を検討してもよいのではないかな。

(2) 会計係

- ・ 最終的に1,066,620円の黒字となった。
- ・ 今回導入した現金カウンターで作業効率がアップしたが、会が始まるとかなり慌ただしかった。
- ・（現金・通帳・キャッシュカードの扱い）主査が行った。初日に最も出入りが多いので入金を頻繁に行わなければならなかった。期間中これらをずっと所持するのは大変であり、改善が必要と思われる。
- ・（クレジットカードによる参加費支払いについて）履歴に残るため、後の集計作業が楽だった。
- ・（釣り銭準備について）千円札を90枚用意したが予稿集が500円なので釣り銭を準備しておく必要がある。ATMでは硬貨に変換できないのでコンビニで行ったが対応してくれない店員もいた。

- ・（アルバイト代や返金等の袋詰めについて）当日に作業する時間は無いので、前日の作業が必要となる。
- ・（懇親会の支払いについて）事前に振り込むとホテルは当日の追加分の領収書しか渡してくれない。注意が必要。

(3) 受付係

- ・ 参加名簿を受け付け用に名簿を事前に作成した。実際の作業は年明けてから。
- ・ 前日に会計係と協力して急遽前日に設営を行った。レイアウトに関する事など、前日の作業で判明したことがあったため前日に作業を行う必要性は高い。
- ・ 事前登録と当日登録を分けるか、シンポジウムも別に設けるかなど検討が必要だったので、前日の作業は非常に重要。当日になって受付手順書を見ながらアルバイトが動き出すことになるが慣れるまで時間がなく、この点は今後もつづく課題であろう。
- ・ 場所の質問が多かった。小さな掲載はあったがわかりにくかったのではないかな。受付係も校舎の構造を理解していないので案内しづらかった。
- ・ 受付会場の混雑時は後ろの人たちは何をどこの窓口で行っているのかわからない。掲載は高いところにするべきか？
- ・ アルバイトは参加者の身分確認が重要なので、そのためのしくみをつくるのがよいのではないかな。
- ・ 受付係と会計係の間で釣り銭等のクロスチェックを行った。連携が重要である。
- ・ アルバイトの8名がとても優秀でスムーズにいった。
- ・ バイトの意見では支払額を示す半券を用意する。釣り銭は途中で返すのではなくずっと持っておく。札によって仕分けする。などが挙げられた。
- ・ 窓口に来た人で、事前申し込みをしていたのに忘れて再度申し込みをする人が多発していた。また学会費と参加登録費の違いを混乱している人もいた。（レーザー学会の場合は事前申し込みをしても学会から特別に連絡が無いからだろうか。）

(4) 会場係

- ・ 事前準備は会場までの経路の案内図、準備、アルバイトマニュアル作成等を行った。前日にはポスター会場の設置も行った。
- ・ 大きなトラブルはなかった。支出を伴う作業もなかったので特に問題はなかった。挙げるならば校舎の構造が複雑である点か。
- ・ 発表者にはプロジェクターへの接続に関して VGA 接続をアナウンスしていたが、最近では VGA がついていない PC もある。今後は HDMI 接続の対応が必要と思われる。

(5) アルバイト係

- ・ 事前準備は2015年に倣い、8月に25名の公募（東海大学20名、慶応5名）を開始した。12月にコマ割りを行った。
- ・ 最終日に無断欠席者が出たのでその対応が必要だった。
- ・ 申し送り事項としては、事前に本人からの希望で配置を決めるのも必要か。
- ・ 前日設営が必要かどうかの連絡が早めであればよかったか。
- ・ クロークでの保険は必要かと思われるが、そのための適当な商品がなく難しい。

(6) 懇親会係

- ・ 12月中に準備。
- ・ 食事が足りなかった。
- ・ ホテルのクロークで列ができてしまった点が反省点。（以前からホテルにも申し出ていたのだが解決されなかった。）

(7) 広報係

- ・ 当日作業はなく、当日は忙しそうなところに組み込んでもいいのでは。
- ・ 大学側でデザインの原案を出してもらえれば係は2名でもいいのでは。
- ・ 年次大会のポスターは9月初旬に諸々決定したので作成・配布ができた。
- ・ 年次大会のHPではブランドコンセプトによるHP作成後に発生する作業が多かったため、割高感があった。アカウントを係りに渡してもらえればもっと安価にできた可能性もある。
- ・ HPのデザイン編集WORD PRESSは少し戸惑うかもしれない。
- ・ 事前参加登録者の本人確認については、メールや学会誌を見ない人もいるのでHP上にPDFに学会の基本的な情報（変更が無い情報など）を掲載するなどはどうか。
- ・ 企業見学については、関係する情報が少なかった。参加者が興味を持つような情報を掲載してみるのはいかがでしょうか。
- ・ web上の講演プログラムについては予稿と違うデータが多かったなのでその修正に時間をかなり要した。
- ・ 予稿提出時に項目毎に割ってプログラム上で自動的にテーブルになるようなシステムにすることで作業が楽にならないか。
- ・ HPにカウンターをもうけておけば、見に来た人が何を見たのかの情報を収集することができるのではないか。
- ・ なるべくポスターは早いほうがいい。必要な情報をなるべく早く入手することが重要。
- ・ 大学開催の場合は、デザイン等積極的に大学側でやっていただける場合もある。

(8) Laser solution2019

- ・ 28社からの出展があり、5年前からの出展数が大幅に増えた。企業にとってレーザー学会での出展はインパクトがあるあると認知してもらっているのではとの感触をもった。次回以降はなるべく受付と展示場が隣接しているのがいいのかなと思う。
- ・ コーヒー無料サービスは非常に有効だとも思われる。今後も「光産業 e-mail ニュース」を使ってレーザー学会の行事等を配信する予定。
- ・ 展示会場に行く前に有料の弁当屋が出店していたため、無料のおにぎり・サンドイッチが余ってしまった。

(9) 事務局

- ・ 38回大会でかなり多かったので不安だったが、祝日でもこれだけ人数が集まった。
- ・ これまでもそうであったが、事前参加登録者数と当日参加者数がほぼ同じ。全体参加者数の予測に有効ではないか。
- ・ 前回の東京支部開催 35回大会と比較して充実しており、収支もプラスになった。
- ・ 会員数についてシンポジウムを始めた前回大会から中身を分析すると、入ってくる人数は増えているが出ていく人数も増えているため現状維持の状態。9月に増えて3月に退会が増えるのは学生の卒業や社会人の移動か。学生会員の8月の入会で今年は増えた。これはポスターを設けた影響と思われ、学会の若返り化に有効ではないか。ポスターは今後も是非続けてほしい。
- ・ 企業は平日開催を希望する。自動車関係のセッションが半減している。
- ・ 光通信の集客が弱い。この対応を検討中である。
- ・ 年次大会の収益が学会運営で非常に重要なウエイトを占めている。シンポジウムや新しいコミュニティを作って発表できる場を提供していく必要がある。
- ・ 東京では大学を会場として利用する必要があり、大学側に負担をかけている。地方では自治体の補助が受けられる場合もある。東京開催の場合も検討してもらえるとありがたい。
- ・ 正会員数の9月の増加が少ないのは課題。
- ・ インフルエンザの対応、無理して出席して後で蔓延していたとかある。

2. 優秀論文発表賞候補者選考

配付資料①, p. 61に沿って優秀論文発表賞および論文発表奨励賞の選考方法が説明され、受賞候補者と推薦理由について報告がなされた。

- ・ (ポスター賞について) ポスター賞3件を授与した。表彰式は懇親会にて行った。特別講演で受賞者を発表するので集まるようにとポスター発表者にアナウンスしていたが、集まったのが3~4名で、その中に該当者が1名しかいなかった。
- ・ 該当者への伝え方が申し送り事項。

- ・ ポスター時間が 45 分しかなかったのでスケジュールがタイトだった。次回はシンポジウムがないので少し長くなるのではないかと思う。

2. 年次大会報告書作成のお願い

- ・ 各係で報告書を作り、総務係でまとめて大越先生に提出する。3 月 31 日締め切り。
- ・ 配付資料②の 40 回大会について、日時場所もすでに決定している。是非参加して頂きたい。
- ・ シンポジウムも募集中。